

あいおい損保「メンタルヘルスケア・サービス会社」を設立

～ 日米の専門家の連携による日本初医療・介護等ジャンル別メンタルヘルスケアサービス教育を提供～

あいおい損害保険(株) (社長：瀬下明) は、(株)マックスインターナショナル(東京都港区 川西由美子社長) 他と共同で今年 1 月、メンタルヘルスケアサービス会社を設立しました。

従来の企業向け・従業員向け EAP のみならず、先進国アメリカのノウハウを導入し、日本版として改良を加え、日本初の医療・介護等ジャンル別メンタルヘルスケアを提供するものです。

具体的には不慮の事故や重度の疾病により、強いストレスを受けた保険契約者およびそのご家族向けに同社で教育を受けた専門のカウンセラー(心理療法家)を派遣するサービスを 7 月に試行開始します。

毎年、不慮の事故やがんによる死亡と並び、死亡原因の上位を「自殺」が占めるという現在のストレス社会において、従来より 100%出資子会社のふれ愛ドゥライフサービスにて、ご契約者様向けに電話相談を実施しておりますが、内容別に見た場合「ストレスやメンタルヘルス(心の健康)」に関する相談が全体の約 1/3 を占めております。

しかしながら日本においては、学校や職場において一部導入を見ているものの、一般的には、カウンセリングや心理療法等の認知度は依然低い状況にあります。今般の取組みは、従来からの弊社の医療・介護分野への先進的取組み(サービスセンター運営・健康医療相談事業他)を通じて培ったネットワークを生かし、様々な心の悩みに対応できるジャンル別(医療現場、介護現場、職場等)の専門家(心理療法家)育成や、心と身体が相互に影響し合うことに対処するための他の専門家(医師、介護職等)との連携を積極的に行っていくものであります。

現に当該分野の先進国である米国においては、昨年の同時多発テロなどの衝撃的な災害時をはじめ、医療機関や介護施設においても各々のジャンルを専門とする心理学者やカウンセラー(心理療法家)が多数活躍しております。

弊社ではこのような現状を踏まえて同社を設立し、先進国である米国の南カルフォルニア大学、スタンフォード大学の専門家等との日本人向けカウンセリングプログラムの共同開発を行います。また、医療・介護現場における実践・検証を通し、各ジャンル別の専門カウンセラー(心理療法家)を育成し、保険会社としての質の高い保険給付(現物給付のサービス)によりお客様の「QOL(Quolity of Life 生活の質の向上)」に貢献したいと考えております。

以上

<会社概要>

- ・商号：あいマックス株式会社
- ・所在地：東京都渋谷区代々木
- ・資本金：2800万円
- ・設立：平成 14 年 1 月
- ・連絡先：03-5333-9480
- ・事業内容：
 - ・ジャンル別メンタルヘルスケアの開発・提供
 - ・メンタルヘルスケア専門家の教育・研修
 - ・専門職同志のネットワーキング

～株主構成～

- ・(株)マックスインターナショナル : 400 株 (71.4%)
- ・あいおい損害保険(株) : 40 株 (7.14%)
- ・(株)服部メディカル研究所 : 60 株 (10.7%)
- ・(株)エムアンドエフ : 60 株 (10.7%)